

いばらきサイクルツーリズム構想

2019年2月
政策企画部 地域振興課

- ・ 自転車活用推進法の施行や国の自転車活用推進計画策定など、国を挙げてサイクルツーリズム（日本を代表し世界に誇る「ナショナルサイクルルート」の創設等）をはじめとした自転車活用の気運が急速化
- ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードを活用した地方創生の取組が着実に進展しているが、更なる誘客には情報発信や受入体制の整備などが必要
- ・ 本県には、山々や河川、海岸線などの自然環境や地域資源が豊富であり、これらを最大限に活かした全県的なサイクルツーリズムの可能性大

国内外からのサイクリストが何度も訪れたい魅力ある「サイクリング王国いばらき」の実現

1 策定にあたっての基本的な考え方

ターゲット : ターゲットを明確にしたうえで、セグメントに応じた施策を展開

推進体制 : 県・市町村・民間など様々な主体と相互連携を図る

3 推進に向けた主な取組

① ターゲットや地域資源のセグメント分けに応じた誘客の仕掛け

- ・ サイクリングコースの設定、サイクリングツアーの推進 等

② 効果的で多様な情報発信

- ・ 首都圏や海外でのサイクリイベントへの出展 等

③ サイクリストの受入体制整備

- ・ 茨城空港や道の駅等のサイクル拠点化の検討 等

④ 自転車走行空間の整備

- ・ 自転車走行空間（サイン表示）の整備推進 等

2 モデルルートの設定

県内各地域の豊富な地域資源を有機的に結び付けたモデルルートを以下の4つの視点から設定

- ① サイクリストのレベル ② 魅力ある資源を繋ぐ ③ ルートごとの特色を反映 ④ 安全・安心、快適性

